

課題NO.3

ほ場整備を契機とした営農体制の整備

活動期間：令和6年度～令和7年度

対象者：株式会社大輪

チーム員：青沼達也、大槻恵太、進藤友恵

1 課題の背景・ねらい

(1) 背景

- 大和町吉田金取北地区は、令和3年に農地中間管理機構関連農地整備事業予定地区（受益面積42.6ha）に採択され、担い手組織に地区内全ての農地を集積予定。
- 新たな担い手組織として、令和5年5月に**（株）大輪が設立**。同法人を核とした持続可能な営農体制づくりに向けて、**急激な農地集積への対応**や**法人経営の安定化**が課題。

【(株)大輪 概要】

経営概要：水稻37ha、大豆10ha（合計47ha）

園芸品目1.2ha（ピーマン、ねぎ、ばれいしょ、さつまいも、ブロッコリー、白菜）

構成員等：役員1名、正社員1名、パート社員3名

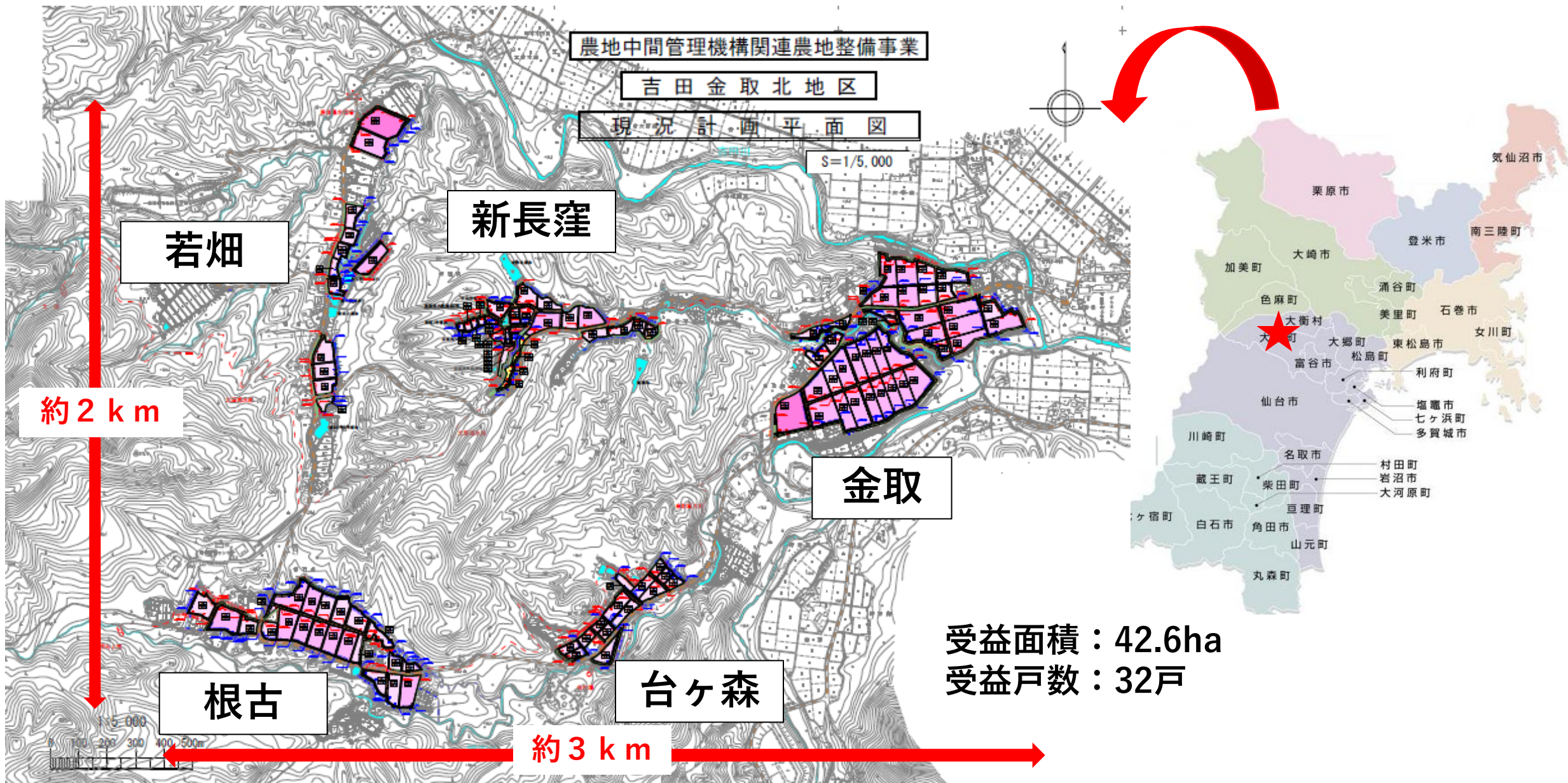
(2) ねらい

- (株)大輪を核とする地域営農体制の確立に向け、ほ場環境に適した農地利用が図られる。
- 収益性の高い農作物を安定して生産できるようになり、今後必要となる設備投資への見通しが立つ。
- (株)大輪の経営方針が作成され、従業員を雇用できる体制が整う。

【定量的数値目標】

地区営農計画※ R5（現況）：0 → R6：0 → R7：1

※（株）大輪による営農計画の作成、地域への説明、地域の了解が得られたもの



・ 県立自然公園船形連邦・七ツ森に囲まれ、一級河川吉田川沿いに耕地が広がる中山間地域

2 活動内容

(1) 地域営農体制の確立と農地の効率的利用支援

令和7年5月発行 No.1

金取北農地整備事業推進協議会だより

発行：金取北農地整備事業推進協議会・仙台地方振興事務所

事業の進捗状況等をお知らせしていきます！

当地区では、(株)大輪(代表：堀籠昭幸さん)を担い手として、令和7年から令和11年の概ね5か年、農地整備事業を実施してまいります。

今年度より換地作業等が始まり、事業が進んでいく予定となりますので、農地整備に関する進捗状況や協議会の活動、担い手の営農状況などを発信してまいります。

農地整備事業推進協議会の総会を開催しました。

令和7年4月12日(土)に金取北公民館で令和7年度総会を開催しました。当日は大和町農林振興課や大和町土地改良区より職員の出席をいただき、事業の採択状況や今後の事務手続き等について、情報提供いただきました。

また、今期の大和町土地改良区の員外女性理事として、長窪地区の伊藤浩美さんが就任されたことを紹介いたしました。

～推進協議会より～

当地区の農地整備事業については、4月1日付で国からの正式採択の通知が、大和町へ連絡がありました。今年から換地作業が始まり、事業の取組が始まる予定となります。これまでに準備を進めてきた農地整備事業が本格的にスタートしますので、御協力よろしくお願いいたします。



水稻の乾田直播の様子



営農管理システムの指導

- 法人の営農情報誌を発行、地域へ配布し、法人運営に関する地域の理解醸成
- 水稻乾田直播栽培の技術的支援（防除適期等の指導、情報提供）
- 営農管理システムを活用したほ場管理データの蓄積と大豆の団地化の指導

2 活動内容 (2) 高収益作物の安定生産支援



- ばれいしょなど一部で発生した生育不良に対し、土壌診断等の技術的支援
- ピーマンの連作障害が発生したため、次年度の作付品目の検討支援

2 活動内容 (3) 経営方針の作成、雇用体制の整備



経営診断結果を用いた指導の様子

決算報告書に基づく 経営診断について	
令和 7 年 7 月 仙台農業改良普及センター	
単位：円	単位：円
収 入	収 入
B 18,600,848	B 13,726,907
18,720,196	2,982,483
A 4112,340	1,000,000
4,747,394	5,285,663
-4,638,692	65,900
	24,859
	22,915,453
4,832,453	22,915,453
181,603	36,681,382
+258,624	
196,592	4,832,067
+102,032	5,000,000
65,900	(+187,938)
+187,938	457,558
	457,558
	4,832,067
	41,483,414
	41,483,414

に利益を
の依存度

い。今後
金の積極

営にあた
現金確
流動負債
達、利

益の確保等)の意識を。

- 決算（第2期）を踏まえ、経営の安全性、収益性、活動性、採算性を分析・説明
- 第2期を終えての自社の経営状況や課題について意見交換を実施
- 今後の経営判断基準となる経営理念の重要性について指導

3 **これまでの活動成果**

(1) 地域営農体制の確立と農地の効率的利用支援

- 農地整備事業推進協議会をはじめとして、地域住民らの法人運営に対する理解が深まっている。
- 乾田直播を行うためのほ場条件や防除適期などの知見が蓄積された。

(2) 高収益作物の安定生産支援

- ねぎ、ピーマン、ばれいしょは収穫に至り、安定生産に向けた課題が明確化した。
- 栽培時の連作や高温対策への意識が高まった。

(3) 経営方針の作成、雇用体制の整備

- 資金繰り手法の習得などによって会社の安全性を高めていく意識が醸成された。
- 雇用体制の整備に向け、まずは経営理念の必要性を理解し、理念の設定に向けた検討が開始された。

4 今後の対応

(1) 地域営農体制の確立と農地の効率的利用支援

- 収益性や作業効率を踏まえた、土地利用計画と営農計画の作成を支援し、金取北地区における持続的な営農について地域の理解を図っていく。
- 乾田直播等の技術に加え、ほ場整備を見据えたスマート農業の情報提供等により、農地利用の更なる効率化を図る。

(2) 高収益作物の安定生産支援

- 品目別収支や作業競合を踏まえ、品目選定を支援する。
- 安定した収量の確保と作業効率化に向けて、必要な設備導入の検討を支援する。

(3) 経営方針の作成、雇用体制の整備

- 専門家派遣等を活用し、経営管理手法（特に資金繰り）の取得を支援する。
- 経営理念の設定に向けた話し合いや、変形労働時間制による就業規則の作成を支援する。